

調査報告書サマリー

マルチクライアントレポート

——— プロダクション商品徹底分析レポート ———

『オンデマンド/プロダクション機器と

その周辺機器、消耗品の市場動向調査・分析』

《2019年版》

＝ デジタルテクノロジーにより印刷物を、小ロット/短納期を売りとして出力するオンデマンド/プロダクション機器の市場も、その出力アプリケーションでは「商業印刷」は成長率が鈍化、消耗品による収益も各社間の競争も激しく、一部採算性を改善していく方向性で捉えているメーカーも出てきている。一方では本格的には市場が立ち上がっているとは言い難い軟包装や紙器、段ボールやラベルといったパッケージング分野への投資には積極的で、周知のとおり 2019 年を境として多くの商品提案が各社により行われてくる見込みとなっている。同レポートにおいては、現状における各種ハードの市場をアプリケーション別に見ていくとともに、その周辺機器、消耗品特性、商流、サポート含めて総合的に市場を調査・分析していくものである ＝

株式会社 インターウォッチ

東京都千代田区神田須田町1-8

パールビル5階

TEL 03-3526-6461

FAX 03-3526-6462

E-mail:interwatch@iwco.co.jp

《レポート発刊にあたって》

1990年代から始まってきたいわゆるデジタルの「オンデマンド/プロダクション機」の市場も、各社から商品リリースが行われてからほぼ25年以上の歳月が流れている。当時からの潜在市場の大きさと電子写真のテクノロジーの特性から商業印刷がメインのターゲットとされ、各社間そのプリントスピードや価格設定は基より、搬送の正確性/安定性やソフト面含めた色の再現性、後処理機や前処理装置、消耗品のコストや品質に至るまでメーカー間の競争の基に発展を続けてきている。

現在においても市場成長率こそ鈍化してきているものの、成長過程にあるアプリケーションとしてとらえている。

並行して、今後の潜在市場性を期待し、軟包装や紙器、段ボールやラベルといったいわゆる「パッケージング」の分野をターゲットとして、電子写真のテクノロジーのみならずインクジェットテクノロジーを取り組みながら開発に注力しているメーカーも多い。

同レポートにおいては、例年同様、電子写真/インクジェットテクノロジー問わず「モデル別」、「地域別」にその出荷推移を2022年まで予測、並行して「主要ユーザー層別・アプリケーション別」に出荷台数/設置台数を検証し、対応した消耗品の市場もカバーしていくものである。

とりわけ2019年版レポートにおいては、①サポートも含めた課金体系と収益体制、②新規開拓分野（パッケージングをはじめとする）などを深堀することにより、今後におけるオンデマンド/プロダクション機器の市場を調査・検証していくものである。

A. 調査対象機種

商品セグメント	主な対象/メーカー
高速ラインヘッドインクジェット	Xerox「CiPress500/325」、「Baltoro HF」、「Trivor2400HD/HF」、「Br envaHD」、「Rialto900」、「ImpilaEvolution/Compact/Reference」、富士ゼロックス/富士フイルム「11000」、「2800/1400 系」、「JetPress720S/750S」、「JetPress540W 系」、キヤノン/オセ「ProStream 系」、「ImageStream 系」、「ColorStream 系」、「JetStream 系」、「i300/i200」、「MonoStream500」、「Voyger」、リコー「VC70000/60000/VC40000/VC20000 系」、「InfoPrint5000 系」、コニカミノルタ「KM-1」、「WEBJet200D/100D」、HP「T400/300/200 シリーズ」、「T1100」、Kodak「Prosper 系」、「VX 系」、「Versa 系」、SCREEN「TruepreprssJet520/HD/NX 系」、「Truepre ssJetSX」、ミヤコシ「MJP20/30 系」、LANDA テクノロジ採用メーカー、MEMJET テクノロジ採用メーカー、Domino、東京機械製作所、デュプロ、小森コーポレーション、KBA、Heidelberg、など
その他ラインヘッド採用インクジェット商品	HP、理想科学工業、セイコーエプソン、MemJet 採用メーカー、今後の参入メーカーなど
電子写真オンデマンド印刷機 (カラー:連帳/カット紙)	富士ゼロックス「490/980」、キヤノン/Oce「Colorstream10000 系」、「Indigo20000/WS8000/WS6800/6600/6000/4600/W7250」、Xeikon「9800/9600/8500/3000 系/CX3/CX500」、その他液体现像を含む電子写真メーカー(ミヤコシ/旧昭和情報機器など)富士ゼロックス「iGen5/150/4/3」、「Iridesse」、「Color1000i/800」、「Varsant シリーズ」、「C75」、「7171P」、「5151/5656P」、「DC8250 系」、「560/570」、「C60/C70」、キヤノン/Oce「C10000/8000 系」、「C7011/6011 系」、「C800/700/C650 系」、「C165」、「C9280pro/9270pro」、「Colorstream10000 系」、コニカミノルタ「C6100/C6085」、「C1100/1085 系」、「C3070/3060 系」、「C2070/2060 系」、「C1070/1060 系」、「C8000/7000/6000 系」、「C65/70/71/81hc」、リコー「C9110/9100/7210/7200 系」、「C901/900 系」、「C751/651 系」、「C5210S/5200 S 系」、HP「indigo50000/30000/12000/7900/5900/3550 系」、Kodak「Nexfinity」、「ZX3600/3300」、「NexpressSX3900/3300/2700」、など
電子写真オンデマンド印刷機 高速デジタル PPC (モノクロ:連帳/カット紙: 90ppm 以上)	富士ゼロックス「695J」、「495J」、「650/1300」、キヤノン/Oce/SIS「Variostream シリーズ」、「SX9000/8800/7800 系」、「VS4xxx系」、リコー「F2130/2120/2110 系」、「LBF100A/75A」、「Infoprint4100 系」、「Infoprint100」、その他(富士通/兼松など)ベンダー、ゼロックス「Nuvera314/288/157/144 系」、「DocuTech180/155/128」、「B9136/9125/9100」、「D136/D125/110/95」DocuPrint180/155/135/115/100」、キヤノン/Oce/SIS「1135/1125/1110 系」Varioprint135/120/110 系」、「VP140/130/115」、「Varioprint6000 系」、「8585/8595/8505/8585pro」、「SX9000/8800 系」、コニカミノルタ「2500/2250/1250/1051/95 系」、リコー「1357/1107/907 系」、「Pro8120/8110/8100 系」、「SP9500pro 系」、「Infoprint2000」、Kodak「HD300/150/125 系」、シャープ「M1205/1055/905 系」、東芝テック「e-Studio1207/1057/907 系」、京セラ DS「Taskalfa9002i」、その他ベンダー

B. 調査対象範囲

1. 調査対象品目
 - 1) 上記調査対象機種に該当する商品
 - 2) 上記対応消耗品(トナー/感光体/インク)
 - 3) 上記対応周辺機器
2. 調査対象地域
日本市場/北米市場/西欧市場/その他地域市場
3. 調査対象期間
2016年～2018年実績、2019年～2022年予測
4. 調査対象先
 - 1) 調査対象機器メーカー/ベンダー
 - 2) 上記関連消耗品業者
 - 3) 上記関連部材供給メーカー
 - 4) 上記関連周辺機器メーカー
 - 5) 海外における展示会出展メーカー/ベンダー
 - 6) その他関連企業

C. 調査概要

1. 調査形態、及び提供サービス、報告書
 - 1) 本調査はマルチクライアントによる調査である
 - 2) ご希望により報告書刊行後、報告会を実施
 - 3) 報告書を購入していただいたクライアントに対する、問い合わせによるアフターサービス
2. 調査期間
2019年7月～2019年10月
3. 調査報告書発刊日
2019年10月24日
4. 調査報告書価格
¥600,000- (消費税別)
5. 調査担当
岩田治信

【目次】

【レポートにおける定義付け】	1
《対象ハードウェアのカテゴリについて》	
《対象ユーザー層について》	
I. 全体分析編	3
1. プロダクション/オンデマンド関連商品市場推移	3
1) ハード/消耗品/保守・サポート関連売上推移	3
2) 2018年におけるハード/消耗品/サポート・メンテ地域別売上割合	4
3) 2018年におけるハード/消耗品/サポート・メンテ地域別・ベンダー別売上割合	5
2. ハードウェア市場推移	9
1) 全体市場推移	9
2) 地域別全体市場推移	10
3) 印字方式別全体市場推移	11
4) 主要メーカー別全体出荷推移	12
(1) 出荷台数推移	12
(2) 出荷金額推移	13
5) 地域別・印字方式別出荷推移	14
(1) 全体出荷動向	14
(2) 日本市場におけるメーカー別・方式別・出力タイプ別出荷推移	17
①印字方式別出荷推移 ②出力タイプ別出荷推移	
(3) 北米市場におけるメーカー別・方式別・出力タイプ別出荷推移	20
①印字方式別出荷推移 ②出力タイプ別出荷推移	
(4) 欧州市場におけるメーカー別・方式別・出力タイプ別出荷推移	23
①印字方式別出荷推移 ②出力タイプ別出荷推移	
(5) その他地域市場におけるメーカー別・方式別・出力タイプ別出荷推移	26
①印字方式別出荷推移 ②出力タイプ別出荷推移	
【高速プロダクション品を対象とした市場の地域別特性】	29
3. POD/オンデマンド市場における出力用途から見た市場規模・特色	30
1) 出力市場別	30
(1) CRD市場	30
(2) 基幹系プリンティング市場	33
(3) 官公庁・文教におけるPOD機導入市場	36
(4) フォト市場におけるPOD機の導入	38
(5) 商業印刷	41
(6) ラベル印刷市場	46
(7) 段ボール印刷市場	50

(8) 紙器印刷市場	54
(9) 軟包装パッケージング市場	58
2) 地域別・ユーザー層別設置状況 (2018 年末段階)	62
(1) 地域別・方式別全体状況	62
(2) 地域別・方式別・メーカー別状況	66
①日本市場	66
②北米市場	71
③欧州市場	75
④その他地域市場	79
4. 既存印刷機市場における商流概要	83
1) インクジェット印刷機のオフセットからのシフト概念と商流の動き概要	83
【2018 年/2019 年における POD 関連ニュース概要】	85
2) 既存印刷における印刷方式別メリット・デメリット	90
3) 印刷方式別主要用途	91
4) 印刷方式別使用インキ概要	92
【方式別インキ種類】	93
【具体的用途と被印刷素材】	94
5. POD/オンデマンド商品における消耗品市場	95
1) 消耗品販売のビジネスモデル概要	95
(1) クリックチャージ料金体制	95
(2) カスタマイズ料金	96
2) 消耗品市場推移	97
(1) 消耗品消費量/金額推移	97
①-1. インクジェット向けインク全体出荷動向	97
①-2. ベンダー別出荷量推移	98
②-1. 電子写真向けトナー全体出荷動向	99
②-2. ベンダー別出荷量推移	100
3) ランニングコスト	101
【主要メーカーにおける印刷コスト情報】	102
【主要モデルにおける課金体系概要】	108
6. POD 向け出力メディア検証	115
1) 全体検証概要	115
【1 台当たりの出力ボリューム概算】	117
2) 出力枚数概算	118
(1) 全体出力量推移	118
(2) 主要ベンダー別出力枚数	119
①全体出力量	119

②カラー電子写真（カット紙）	120
③カラー電子写真（ロール紙）	121
④モノクロ電子写真（カット紙）	122
⑤モノクロ電子写真（ロール紙）	123
⑥インクジェット（カット紙）	124
⑥インクジェット（連帳紙）	125
3) 平均出力枚数概算	126
(1) インクジェット（ロール紙）	126
(2) カラー電子写真（カット紙：ハイエンド）	127
(3) カラー電子写真（カット紙：ミッドレンジ）	128
(4) カラー電子写真（カット紙：ライトプロダクション）	129
(5) カラー電子写真（ロール紙）	130
(6) モノクロ電子写真（カット紙：ハイエンド）	131
(7) モノクロ電子写真（カット紙：135枚機クラス）	132
(8) モノクロ電子写真（カット紙：115枚機クラス）	133
(9) モノクロ電子写真（カット紙：90枚機クラス）	134
(10) モノクロ電子写真（ロール紙）	135
7. POD/オンデマンド商品におけるサポート/保守市場	136
1) サポート/保守におけるビジネスモデル概要	136
(1) メーカーのサポート部隊によるサポート	136
(2) アウトソーシング	136
2) サポート/保守における売上推移	137
(1) 全体売上推移	137
(2) 出力方式別・メーカー別出荷金額推移	138
①インクジェット方式	138
②カラー電子写真方式	139
③モノクロ電子写真方式	140
8. 高速インクジェットライン MFP 出荷動向	141
1) 全体市場動向	141
2) ハードウェアにおける出荷動向	142
(1) 全体出荷動向	142
(2) 地域別動向	143
①出荷台数推移	143
②出荷金額推移	144
(3) ベンダー別・地域別出荷動向	145
①出荷台数推移	145
②出荷金額推移	146

3) 消耗品（インク）における出荷動向	147
(1) 全体出荷動向	147
(2) 地域別動向	148
①インク出荷量推移	148
②出荷金額推移	149
(3) ベンダー別・地域別出荷動向	150
①出荷台数推移	150
②出荷金額推移	151
【理想科学「オルフィス」によるユーザー層別設置状況概算】	152
9. 主要メーカーによる POD 販売人員数とその手法（チャンネル別販売状況概要）	154
1) 主要メーカーの地域別 POD 販売人員数	154
2) チャンネル別販売状況概要	155
10. インクジェット商品のアライアンス関係（ラインヘッド採用商品）	156
11. 主要プロダクション商品のモデル別出荷数量（2014年～2018年：台数/金額）	157
1) 国内市場におけるカラー電子写真プロダクション製品	157
2) 国内市場におけるモノクロ電子写真プロダクション製品	158
3) 国内市場におけるインクジェットプロダクション製品	159
12. 主要 POD 関連展示会情報	160
1) 「IGAS2018」	160
2) 「TOKYO PACK 2018」	163
3) 「Page2019」	167
II. 個別メーカー動向編	171
1. Xerox	171
2. 富士ゼロックス/富士フイルム	194
3. キヤノン	217
4. コニカミノルタ	241
5. リコー	264
6. Hewlett-Packard (Indigo)	288
7. Xeikon (Flint Group)	309
8. Kodak	327
9. その他ベンダー	347

各社共通調査項目

- 1) 高速プロダクション/オンデマンド機器関連商品における売上推移
- 2) ハードウェアにおける出荷推移 (1) 出荷台数推移 (2) 出荷金額推移
- 3) 消耗品における出荷推移 (1) 出荷量推移 (2) 出荷金額推移
- 4) サポート/メンテナンス体系とその売上推移
- 5) 2018年におけるハード/消耗品/サポート・メンテ地域別売上割合
- 6) 地域別・プリント方式別出荷推移
- 7) 地域別・主要モデル別出荷推移
- 8) 主要モデル別・ユーザー層/用途別導入台数(2018年末段階：設置台数)
- 9) 主要モデルにおける出力用途/出力物の傾向について
- 10) 主力商品と市場に対する取り組み概要
- 11) 市場全体の動向
- 12) 販売戦略概要 (1) 営業人員数 (2) 地域別・チャネル別販売数量
- 13) サポート体制とその仕組み概要 (1) サポート人員数 (2) サポート項目
- 14) ユーザー層別の考え方
- 15) 競合他社について
- 16) 今後の動向や新商品について

お申込書

資料名	《2019年版》 『オンデマンド/プロダクション機器と その周辺機器、消耗品の市場動向調査・分析』
貴社名	
所属	
お名前	
ご住所	
TEL/FAX	
E-Mail	

上記欄にご記入の上、FAX、または郵送、E-mailにてお送りください。

お電話でのお問い合わせでも結構です。

株式会社インターウォッチ

担当:岩田治信

interwatch@iwco.co.jp

TEL:03-3526-6461

FAX:03-3526-6462